

## 2019 年度事業・決算報告

### ( I ) 事業報告

#### 1. 2019 年度 重点事項と評価

イ．財団総力を挙げ「文化資源化」構想実現のための取り組みを行い、同構想の中核をなす「常設展」を含む展示のリニューアル及び公開（2020 年 3 月予定）を重点的に推進する。

⇒ 本年度は、常設展リニューアルに重点を置き、計画通りに進めることができたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3 月末に予定していたリニューアルオープンを、政府の要請を受け当面の間延期することとなった。

## 2. 研究センター

### (1) 重点事項と評価

イ. 『渋沢栄一と「フィランソロピー」』シリーズ出版を確実に行う。

⇒ 既刊の1巻、2巻に続き第5巻が10月に刊行。翌年2月には、出版記念シンポジウムを国際文化会館にて実施。執筆者による報告ならびに全体討論が行われた。

### (2) 事業内容

イ. 寄付講座

(イ) 華中師範大学寄附講座： 寄付講座は行われなかったが、協定書の期限が2019年9月12日で終了のため、10月21日、武漢にて今後の協定内容について検討を実施。その結果、今後の協定は協定書の更新という形ではなく、これまでの協力体制を維持していきつつ、事業や企画が立ち上がった際に相互の協力、連携を実務業務に落とし込んで進めていくことで双方合意をした。

ロ. プロジェクト成果の出版

(イ) 比較思想プロジェクト：  
2017年度に、成果刊行記念シンポジウム「グローバル時代の民主主義を考える」を実施。現在は、成果出版が残されており、2020年度中に出版予定。

(ロ) フィランソロピーシリーズ出版

A. 2019年10月、渋沢栄一と「フィランソロピー」シリーズ第5巻『国際交流に託した渋沢栄一の望みー「民」による平和と共存の模索』（飯森明子編著、ミネルヴァ書房）が刊行。

B. 2020年2月14日、「戦間期の米中日関係と渋沢の国際交流」をテーマに第5巻の出版記念シンポジウムを国際文化会館にて実施。執筆者3名（櫻井良樹氏、高光佳絵氏、于臣氏）による報告、全体討論が行われた。参加者からも活発な質疑が行われ、書籍の内容をさらに深める有意義な会となった。

C. 現在は、3巻、4巻、8巻に先行して6巻、7巻の刊行準備が進行中。当初の予定からは遅れが見られるが、シリーズの完成を目標に確実な計画を立てながら進めていく。

(ハ) 産業技術導入における実業家のリーダーシップ：  
現在は成果出版が残されており、2020年度中に出版予定。

## ハ. 渋沢栄一研究の促進

### (イ) 論語とそろばんセミナー

#### A. 「論語とそろばんセミナー」の開催

2020年1月18日、『「論語とそろばん」セミナー2020』を東京商工会議所・東商グランドホールにて開催。過去最高の249名が参加し、井坂康志氏、堂目卓生氏による講演と朝倉祐介氏と守屋淳氏の経営者インタビューが行われた。また、2010年に始まった本セミナーは、今回で10年を迎え一つの節目となった。これまで多岐に渡る分野の講師をお招きし『論語と算盤』に象徴される渋沢栄一の思想と行動から、現代の日本社会、企業経営、リーダーシップのあり方を多角的なアプローチを試みてきた。今後は、これまでの積み重ねを踏まえたスムーズな運営を基盤に、より有意義な内容を提供できるよう企画を進めていく。

#### B. 『論語と算盤』読書会の運営

2019年9月18日より、49名の参加者で第9期が開始。毎月第3水曜日に実施し、全11回を予定。(ただし、2020年3月(第7回)より新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期)

#### C. 経営者インタビューの実施

2019年度は2回実施。2019年7月、シニフィアン株式会社 共同代表、朝倉祐介氏へインタビュー、『青淵』2019年11月号に掲載。2020年2月、北海道日本ハムファイターズ監督、栗山英樹氏へインタビュー、『青淵』2020年6月号に掲載予定。

(ロ) 合本主義：第2フェーズのトルコについては、アスリ・チョルパン、ジェフリー・ジョーンズ編著による *Business, Ethics and Institutions The Evolution of Turkish Capitalism in Global Perspective* (Routledge, 2019) が2019年9月に刊行。本プロジェクトの研究成果物として今後購入を検討。東南アジアについては、2018年度に実施したワークショップやフィールドワークを踏まえて、出版準備を進めている。現在は執筆の最終確認を行っており、編集に時間を要している。

(ハ) 儒商会議：2019年10月20日、北京大学にて開催された「第7回儒商論域2019」に事業部長の井上が参加し、日本における渋沢栄一の現況を新一万円札の肖像に選ばれたことなどを含め報告。また、木村昌人氏、守屋淳氏も参加し、「合本主義」や「論語と算盤」の思想を紹介した。全体を通して渋沢の功績を再認識する内容となったが、詳細は Liang Zisu, "From Economic Man to Ecological Man: Discourse on Confucian Entrepreneurs 2019" Journal of Cultural Interaction in East Asia, Vol.11 (2020) pp.66-72.に掲載されている。

(ニ) 倉敷シンポジウム：  
予算を計上していたが、今年度はスケジュールの目途が立たず実施しなかった。

(ホ) 協賛・助成・支援事業

A. 協賛：「渋沢・クローデル賞」への協賛として、エベルソルト・シモン氏へ、賞金を贈呈。

B. 助成：12件応募のうち10件の申請を採択、申請内容はいずれも助成事業。支援決定金額は計1,216万5000円。なお、2020年度より、当面の間、助成事業を停止となった。

C. 支援：経営史学会紀要の英語版 **Japan Research in Business History** 36号の出版を支援。なお、今号より紙媒体からオンライン・ジャーナルへと移行。

二. 新規プロジェクト：新規プロジェクト準備費を計上していたが、特に新規プロジェクトの準備は行われなかった。

### 3. 情報資源センター

#### (1) 重点事項と評価

イ. デジタル版『渋沢栄一伝記資料』  
全文公開へ向け、著作権処理による本編の公開範囲拡大、別巻の公開準備

⇒ 本編：著作権調査を進め、引用資料 1,692 件を追加公開したことで、第 1～57 巻の公開率を約 94%とした。別巻：マスターテキスト整備開始

ロ. 『渋沢栄一伝記資料』網文英訳

⇒ 第一段として第 1～3 巻の英訳網文公開

ハ. 実業史錦絵絵引

⇒ 国際規格「IIIF」を採用した「絵引データベース」のリニューアル実施

#### (2) 事業内容

イ. 各種デジタル資料・データベース開発の継続

(イ) 社史プロジェクト

A. 「渋沢社史データベース」

(A) 更新 (7/26、3/18) : データ約 19,000 件追加、「基本情報」の会社名・団体名変遷図とセンター・ブログの URL 表示を最新状態に修正ほか

(B) 利用状況 (4/1-3/31) : セッション数 425,534 (前年同期比 95.05%)、ユーザー数 374,502 (同 94.18%)、ページビュー数 1,982,616 (同 86.15%)、世界 115 カ国から利用

(C) 情報発信 : 社史紹介 10 件 (ブログ) ほか

B. 「渋沢栄一関連会社名・団体名変遷図」	
(A)	利用状況(4/1-3/31)※2019 年度より統計開始:セッション数 74,475、ユーザー数 65,351、ページビュー数 172,162、世界 57 カ国から利用
(B)	『青淵』 「変遷図紹介」 掲載 5 件、ブログ「変遷図紹介」 掲載 2 件
(C)	EAJRS カンファレンス (9/18-21、ソフィア) にて「渋沢栄一を知る : 渋沢栄一関連会社名・団体名変遷図を活用して」 発表 (9/18)
(D)	データベース化した変遷図コンテンツのデータを活用し第 21 回図書館総合展ポスターセッション出展 (11/12-14) 、北区立中央図書館へ出展ポスター貸出・展示 (1/24)
C. 実業史資料 (ビジネス・アーカイブズ) 優良事例集 Web 掲載 1 本、メルマガ配信・Web 掲載 6 件 (3/31 現在、購読者 1,067 名)	
(ロ) 実業史錦絵プロジェクト	
A.	実業史錦絵絵引 デジタルアーカイブにおける国際標準規格「IIIF」に準拠した絵引データベースのシステム・リニューアル (3/28)
B.	渋沢栄一関連絵葉書 辻本攻氏からの借用・寄贈絵葉書資料撮影 (デジタル化) 113 件ほか
(ハ) 渋沢関係情報資源の開発	
A. デジタル版『渋沢栄一伝記資料』	
(A)	引用資料 1,692 件追加公開ほか
(B)	別巻マスターテキストの TEI エンコーディング検討会実施 (12 回)
(C)	東京大学大学院横断型教育プログラム・デジタル・ヒューマニティーズ (DH) コア科目「人文情報学研究 (1) 、 (2) 」での活用のため書簡データ (別巻第 3、4) 提供

(D) 『渋沢栄一伝記資料』英訳網文：ベータ版として Web 公開開始（第 1～3 巻）（3/31）

B. 渋沢関係情報発信

(A) Web 上の情報発信（ブログ更新 57 日）  
「栄一関連文献」2 件追加、「新紙幣の肖像（2019 年 4 月 9 日発表）に関する報道などから」（4/10-、期中 52 件）ほか

(B) 『青淵』：  
連載「わがまちの渋沢栄一」4 件

ロ. 実業史研究基盤整備

(イ) 基盤整備：  
資料収集 128 点、資料整理 1,666 点、保存対策（保存箱、修理製本）

(ロ) 環境整備・情報発信

A. 『実業史研究情報センター実績集』（オンライン版）Web 公開（3/13）、  
国立国会図書館「カレントアウェアネス-R」で紹介（3/23）

B. センター事業等に関する記事執筆 20 件

C. レファレンス回答、Web サイト更新、研修・外部への対応ほか

D. 企画展等展示記録作成 6 件

ハ. 協力事業

国際アーカイブズ評議会（ICA SBA）、渋沢敬三記念事業ほか

#### 4. 学芸課

##### (1) 重点事項と評価

イ. 2020 年 3 月までの完成をめざし常設展示をはじめとした渋沢史料館リニューアルの設計にもとづき、展示等の制作・工事を実施する。

⇒ 常設展示をはじめとした渋沢史料館リニューアル展示案やデジタルコンテンツ等について、展示実施設計等にもとづき、設計管理者、施工者を入れて打合せを継続的に行い内容の調整を進めた。内部では、学芸員、館長、常務理事、理事長を含めた打合せを随時行った。2019 年 9 月 1 日より休館して、リニューアルの実設計にもとづき、展示等の製作・工事を実施した。2020 年 3 月のリニューアルオープンを予定していたが新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、当面延期としている。

##### (2) 事業内容

イ. 渋沢史料館入館者数及び史料館収入の推移

2019 年度 入館者合計 25,398 人 入館料収入 6,849,440 円

ロ. 展示

(イ) 常設展の展示替え：3 件

(ロ) その他の展示：1 件

ハ. 教育普及

(イ) ギャラリートーク 10 件

(ロ) 飛鳥山 3 つの博物館合同事業 1 件



ニ. 資料収集

(イ) 受贈資料 : 2 件

(ロ) 購入資料 : 41 件

(ハ) 受贈・交換図書 : 約 1,000 件

(ニ) 購入図書 : 5 件

(ホ) 製作資料 : 当館所蔵資料等 : 90 件

ホ. 資料整備

(イ) 除塵・防黴作業

(ロ) 資料のくん蒸作業

(ハ) 館内環境調査

(ニ) 資料の代替作業 (写真資料複製・フィルムデジタル化等)

(ホ) 資料の修復・補修

(ヘ) 晩香廬虫害調査

ヘ. 資料の活用

(イ) 資料閲覧等件数 : 94 件

(ロ) 資料貸出件数 : 210 件

(ハ) 展示・出版・放送等協力 : 289 件

ト. 図書等の刊行

(イ) パンフレット、解説シート類 : 16 件

(ロ) ミュージアムグッズ類 : 6 件

(ハ) その他 : 2 件

チ. 調査・研究

(イ) 館員による執筆・寄稿など : 61 件

(ロ) 渋沢栄一の漢詩の訓訳、注釈作成作業

(ハ) オーラルヒストリー事業

(ニ) 当館所蔵「渋沢敬三旧蔵手帳」の翻刻及び調査

(ホ) 渋沢栄一邸に関する調査

(ヘ) 穂積歌子日記関係

リ. 建物公開

国指定重要文化財 晩香廬・青淵文庫内部公開  
4月2日～8月31日 10:00～17:00

ヌ. 広報事業

広報記事掲載・放映等実績 : 56 件

ル. 館員の館外活動

(イ) 講演・講座・出張授業等 : 53 件
(ロ) 博物館等視察 : 13 件
(ハ) 資料調査・出品交渉・諸打合等 : 20 件
(ニ) 研修会・講演会等への参加 : 10 件
(ホ) 委員会・打合せ : 49 件
(ヘ) 三館関係会議等 : 27 件 (三館打合せ会議 : 12 件、三館学芸部会議 (本会議) : 4 件、その他 : 11 件)
(ト) その他 : 55 件

フ. 常設展等リニューアル
リニューアル常設展示等の制作・工事

	団体名・申請者名	申請事業名
1	渋沢栄一杯経済史・経営史 ディベートリーグ	渋沢栄一杯経済史・経営史 ディベートリーグ
2	日米研究インスティテュート (USJI)	USJI 若手研究者育成強化事業 (U.S.-Japan プログラム派遣)
3	公益財団法人ユネスコ・アジア 文化センター	2019 年度高校模擬国連国際 大会への第 13 回日本代表団 派遣支援事業
4	公益財団法人国際文化会館	国際文化会館アーカイブ事業 :戦後日本の国際文化交史の 研究に資するアーカイブの構 築
5	公益財団法人国際文化会館	新渡戸リーダーシップ・プログ ラム(新渡戸国際塾)
6	近代東アジア研究会	近代東アジアにおける実業家 の果たした役割に関する総合 的研究
7	日米中関係研究会	現代日米中関係の歴史的基 盤に関する共同研究
8	インド太平洋問題研究会	ベルサイユの契機: 東アジアの 転換点としての 1919 年パリ講 和条約
9	日本国際交流センター	外国人材の受入れに関する円 卓会議
10	京論壇 2019 東京大学実行 委員会	京論壇 2019

6. 総務部

(1) 支部の状況 (2020 年 3 月末現在 18 支部)

諏訪	京都	仙台	山形	野田	盛岡	秋田
酒田	宇都宮	香取	氷見	加茂	岡谷	小諸
海匠	茨城	白河	深谷			

※ 支部名に網掛けのあるのは、本部で会費徴収事務を代行している支部

(2) 維持会員数・会費収入の推移 (過去 3 年)

(単位：人数、社数、口数は 1、会費収入は千円)

年度末	個人会員		団体会員			会費収入 合計
	人数	会費収入	社数	口数	会費収入	
2017	1,364	6,445	256	1,330	13,522	19,967
2018	1,321	6,465	247	1,320	13,230	19,695
<b>2019</b>	<b>1,365</b>	<b>6,825</b>	<b>248</b>	<b>1,348</b>	<b>13,480</b>	<b>20,305</b>

(3) 寿杖

2019 年度 寿杖会員：7 名

(4) 講演会開催

イ. 支部講演会

支部名	講演会開催日	支部名	講演会開催日	支部名	講演会開催日
海 匝	2019/4/18	野 田	2019/8/23	宇都宮	2019/9/19
茨 城	2019/12/12	秋 田	2020/1/21	深 谷	2020/2/12
仙 台	2020/2/26				

ロ. 提携講演会（提携先：みずほ総合研究所株式会社）

年 度	東京・関東会場		大阪・関西会場		合 計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
2017	12 回	261 名	12 回	46 名	24 回	307 名
2018	12 回	243 名	12 回	30 名	24 回	273 名
2019	11 回	227 名	10 回	25 名	21 回	252 名

(5) 機関誌『青淵』の発行

2019 年 5 月号（842 号）～2020 年 4 月号（853 号）：発行部数：3,500 部/月

(6) 関連事業

イ. 第 36 回 渋沢クロードル賞

ロ. 第 18 回 渋沢栄一賞

ハ. 第 9 回 渋沢栄一ビジネス大賞

平成 31 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。